

嫌気性菌用

KBM アネORS/S-GNR血液寒天培地

選択培地併用の必要性について

嫌気性菌感染症は主に複数菌感染症である。例えば、口腔外科領域や呼吸器の検査材料から *Streptococcus intermedius*、*S. constellatus* などが検出されることはまれではない。このとき、*Porphyromonas* spp.、*Prevotella* spp. や *Fusobacterium* spp. などが混在する場合、*Streptococcus* spp. の先行発育により、これらのグラム陰性桿菌の分離が困難となる。グラム陽性球菌/グラム陰性桿菌の菌量比が1:10程度であっても非選択培地からのグラム陰性桿菌の釣菌が不能となることがある。

(日本臨床微生物学会雑誌 第二十二巻S・1 嫌気性菌検査ガイドライン2012より抜粋)

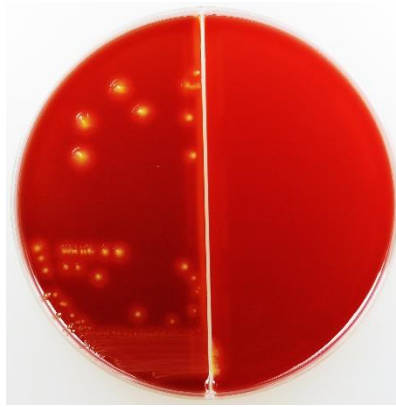
<特徴>

- ◆ グラム陽性菌、腸内細菌、真菌等が混在する臨床材料から、*Bacteroides* 属、*Prevotella* 属等の嫌気性グラム陰性桿菌を選択的に分離するための培地です。
- ◆ 検査の効率化を図った、嫌気性菌のための分画培地です。
(嫌気培養スペースにも配慮)
- ◆ 1枚入り個別包装×10袋で、検体数に合わせた使用が可能です。
(培地保存用品は不要)
- ◆ 嫌気状態で個別包装されているため、すぐに使用できます。
(脱酸素剤とインジケータを同封)

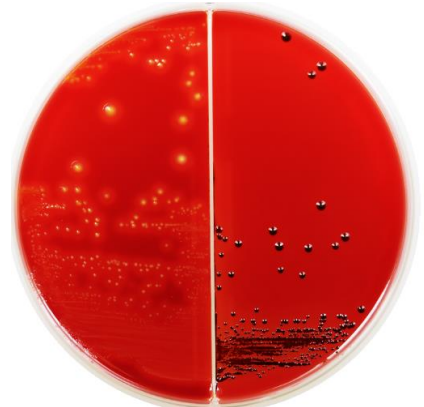
<培養例> 【培養条件】嫌気環境下、35℃、4日間培養



(アネORS) (アネORS-GNR)
A: *Prevotella intermedia*



(アネORS) (アネORS-GNR)
B: *Streptococcus agalactiae*



(アネORS) (アネORS-GNR)
A+B: 混合菌液接種

* アネORSに、*P. intermedia* 発育なし。
* アネORS-GNRに、*S. agalactiae* 発育なし。



KOHJIN BIO

コージンバイオ株式会社 培地の開発・製造・販売

〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田5-1-3

TEL:(049)284-3781(代)

FAX:(049)284-4784

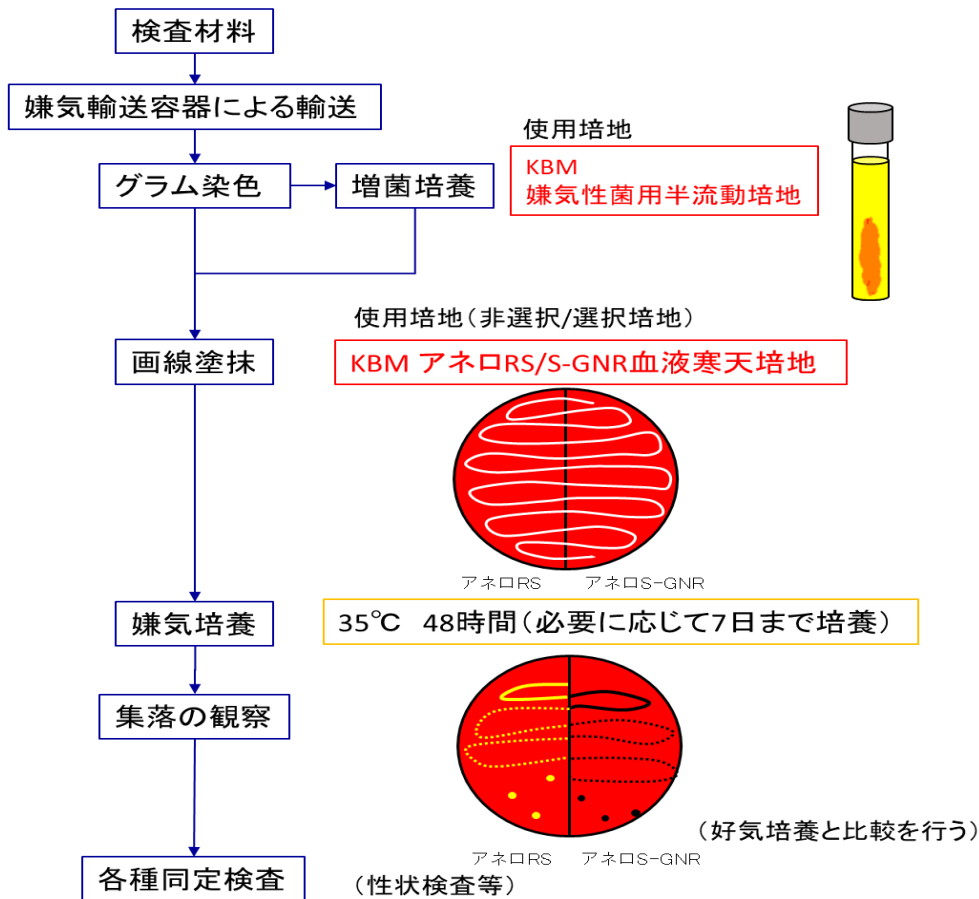
e-mail: info@kohjin-bio.jp

URL <http://www.kohjin-bio.jp>

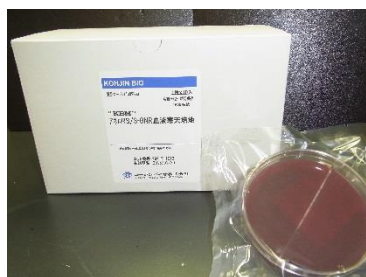
嫌気性菌用

KBM アネロRS/S-GNR血液寒天培地

<嫌気性菌検査例>



<製品形態>



(1枚入り×10袋)



脱酸素剤とインジケター



増菌用試験管培地

製品コード	製品名	包装	価格	貯法	有効期限	JANコード
47180	KBM アネロRS/S-GNR血液寒天培地	10枚 (1枚×10袋)	¥6,000	冷暗所(2-10°C)	90日	4987692471805
55010	KBM 嫌気性菌用半流動培地	50本	¥12,000	冷暗所(2-10°C)	180日	4987692550104
53085	KBM 嫌気性菌用試験管培地	50本	¥12,000	冷暗所(2-10°C)	180日	4987692530854



KOHJIN BIO

コージンバイオ株式会社 培地の開発・製造・販売

〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田5-1-3

TEL:(049)284-3781(代)

FAX:(049)284-4784

e-mail: info@kohjin-bio.jp

URL http://www.kohjin-bio.jp